

# Palette

～地域とミライをつくるゼミ～



## 関係人口創出のワクワク & モヤモヤを語りつくす会

～関係人口創出の良いアイデアは出たけど、いつ、誰がやるの?～



伊藤 将人  
(国際大学 GLOCOM 研究員)



庄司 昌彦  
(武蔵大学 社会学部 教授)



水谷 考嬉  
(NTT東日本 地域循環型ミライ研究所  
エバンジェリスト)

- 日時 : 2025年2月18日(火) 17:45～19:40
- 場所 : オンライン (Teams) ※お申込みいただいた方に URL をお送りいたします
- プレゼンター : 庄司昌彦 (武蔵大学 社会学部 教授)  
伊藤将人 (国際大学 GLOCOM 研究員・講師)  
水谷考嬉 (NTT 東日本 地域循環型ミライ研究所)
- 参加費用 : 無料
- 主催 : NTT 東日本 地域循環型ミライ研究所  
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

### ■ 概要 ■

NTT 東日本地域循環型ミライ研究所は、地域循環型社会の実現に向けて、地域の皆さまや様々なステークホルダーの皆さまと共に「人と ICT を起点とした新たな価値創造」に挑戦しています。この度、地域社会をより良くしていくために日々活動されている企業・団体・個人の皆さまと共に、利害関係を超えて想いや悩みを共有し、知恵を出し合える、“ゼミ”のような場（プラットフォーム）として「Palette (パレット)」を立ち上げました。

今回はその初回のキックオフミーティングとして、能登半島地震や石破政権が掲げる地方創生 2.0 でも関心を集める「関係人口」の創出をテーマに議論します。ミライ研では、関係人口創出に関するプロジェクトを自治体や他企業、地域団体の皆さまと実践する中で、関係人口創出によるワクワクするミライを感じつつも、その実現や持続可能性の確保を目指す過程で様々なモヤモヤが生まれている現実があります。たとえば、関係人口創出のアイデアを誰が実現していくのか、地域なのか、行政なのか、企業なのか、それとも関係人口の人々自身なのか。多様な人たちがどうすれば連携できるのか、関係人口を入口とした協働はどうすれば実現するのか。関係人口を維持していくにはどんな工夫が必要か。地方創生に取り組む多くの方々は、こうした共通した悩みを抱えているのではないのでしょうか。

そこで Palette では、有識者と実践者を交えながら、皆さまが描くワクワクや、抱えるモヤモヤを共有し、解決アイデアなどを語り合います。

パレットの上で多彩な色が広がるように、思いを混ざり合わせながら、共に地域のミライを描いてみませんか。ぜひお気軽にご参加ください。

## ■ プログラム ■

17:45 開会、趣旨説明

18:00 地域循環型ミライ研究所の概要と取り組みの紹介

国際大学 GLOCOM 伊藤将人より「関係人口と地方移住から考える地域の循環可能性」

地域循環型ミライ研究所 水谷考嬉より関係人口をめぐる実践とモヤモヤのシェア

19:00 登壇者によるディスカッション・質疑応答

19:40 閉会

※Teams のリンクは 17 時 30 分よりご参加可能となります（開始は 17 時 45 分予定）

配信中は、ミュートをお願いいたします

## ■ お申込み ■

Peatix ページの申込フォームにアクセスのうえ、必要事項を入力しお申込みください。

<https://palette1-mirai-online.peatix.com>

## ■ 登壇者プロフィール ■

庄司昌彦（武蔵大学 社会学部 教授）



中央大学大学院総合政策研究科博士前期課程修了、修士（総合政策）。専門は情報社会学、情報通信政策。2002 年～国際大学 GLOCOM 研究員、2019 年～武蔵大学社会学部教授。デジタル庁オープンデータ伝道師、総務省「地方自治体の DX 推進に係る検討会」座長、総務省地域情報化アドバイザー、三重県デジタル推進フェロー、石巻市 DX 推進アドバイザー等も務める。FM NACK5「GoodLuck! Morning!」内「エコノモーニング」木曜日担当。

伊藤将人（国際大学 GLOCOM 研究員・講師）



長野県出身、博士（社会学）。一橋大学大学院、日本学術振興会特別研究員を経て現職。専門は地域社会学・地域政策学。地方移住・移住定住政策研究、地方農山村のまちづくり研究、観光交流や関係人口など人の移動と地域に関する研究が専門。多数の地域連携/地域活性化事業の立ち上げに携わり、2 事業が長野県地域発元気づくり大賞を受賞。Abema Prime News や DayDay、朝日新聞、毎日新聞をはじめ、メディアにも多数出演・掲載歴あり。主著『数字とファクトから読み解く 地方移住プロモーション（2024）』ほか。

水谷考嬉（NTT 東日本 地域循環型ミライ研究所）



東京都出身。NTT 東日本に入社後、中小企業へのコンサルティング営業を経て、地域の新たな価値創造をめざす「地域シンクタンク」である地域循環型ミライ研究所にジョイン。研究員として、地域循環モデルの創出に向けて「祭り」や「関係人口」を主に調査、研究。2023 年には新潟県佐渡島、2024 年には秋田県鹿角市にてワデュケーションを実証。主な執筆レポートとして『“祭り”を起点とした継続的な関係人口創出～秋田県鹿角市におけるワデュケーション実証からの示唆（2025）』等。

## ■ お問い合わせ先 ■

NTT 東日本 地域循環型ミライ研究所

電子メール：mirai\_honmu-ml@east.ntt.co.jp

以上